

## 五感で感じる、秋の訪れ…

◎奈良川河川敷いもたき

太鼓集団「魁」の演奏とともに…



9月7・15・21・29の4日間、奈良川河川敷で、鬼北の秋の風物詩である「いもたき」が開催されました。里芋、厚揚げ、こんにゃく、そして鬼北の特産品であるきじ肉を使用した団子など、具がたっぷり入った鬼北の「いもたき」。大勢の人が友達や家族たちとの会話を楽しみながら、秋の味覚を堪能していました。また、町内の商店街で使える商品券等が当たる抽選会も行われ、会場は大いに盛り上がりしていました。期間中、悪天候のため屋内で実施された日がありましたが、会場には楽しそうな笑い声が響きわたっていました。

## 未来を担う若人へ、消防団をPR

◎未来の消防団確保推進事業 北宇和高校訪問

実際に資機材に触れる生徒たち



未来の消防団確保推進事業の一環として9月27日、鬼北町消防団が北宇和高等学校を訪問しました。まず、二宮悟団長が「今後社会人となられる皆さんの若い力で、地域の財産を守ってほしい」と挨拶。その後、消防団PR用のDVDが上映され、生徒たちは消防団の活動内容等について学んでいました。上映後には、消防団員による資機材の説明や操作体験を実施。さらに、女性消防隊は、身近にある物を使用した応急手当法の実演を行い、未来の消防団員に向けて、その必要性や役割を伝えていました。

## 平和を願い、尊い命の犠牲を偲ぶ

◎平成30年度鬼北町戦没者追悼式

祭壇に向かい、献花を捧げる参列者



「平成30年度鬼北町戦没者追悼式」は10月5日、広見体育センターで執り行われました。式では、鬼北町遺族会の二宮征一会長が「二度と悲しみの歴史を繰り返さないよう、恒久平和の決意を新たにしたい」と、追悼の言葉を述べ、約150人の参列者が鬼北町内684柱の御霊に対し、献花を行いました。献花をした後、故人を偲びじつと祭壇を見つめる参列者。戦後73年目を迎えた今年、多くの尊い命が犠牲となった戦争が二度と起こらないよう、参列者たちは平和への誓いを新たにしました。

## 自然の恵みに感謝、念願の稲刈り

◎ふれあい農園事業 古代米稲刈り

慣れた手つきで稲を刈り取る児童



10月3日、泉小学校で古代米の稲刈りが行われました。このお米は、6月に泉小学校児童たちが田植えをしたもの。これまでに、赤米と黒米の2種類の古代米を栽培してきました。まず、児童たちは弥生時代に行われていた「石器」を使った稲刈りを体験。稲穂を一つ一つ刈り取っていく方法に児童たちは、当時の稲刈りの大変さを身をもって体感していました。その後、児童たちは石器から鎌に持ち替え、大切に育てたお米を、皆で協力し合いながら手際よく刈り取り、稲木に干してました。